



認定NPO法人

コクレオの森

2021

年次報告書

ANNUAL REPORT



ご挨拶



CONTENTS

代表理事交代のご挨拶	P1
団体概要	P2
特集「みんなで創るミライの学校プロジェクト」	P3~P6
箕面こどもの森学園	P7~P8
こそだての森	P9
おとなの森、ミライの森	P10
数字で見るコクレオ	P11
2021年度決算	P12
2022年度活動計画	P13
応援メニュー	P14
広告協賛	P15~16

代表理事が交代しました

【代表理事退任のご挨拶】

私、本年6月をもってNPO法人コクレオの森の代表理事を退任いたしました。子どもの主体性を育む学校を市民の手で創ろうと、2003年に「特定非営利活動法人大阪に新しい学校を創る会」を立ち上げました。2009年に法人名を「NPO法人箕面こどもの森学園」、2019年に「NPO法人コクレオの森」と改めて、活動内容を子どもの教育だけでなく、対話の文化を広げる活動やSDGsによる持続可能なまちづくりへと広げてまいりました。

辻 正矩

会の創設以来19年間代表理事を務め、やるべき課題を残したままです。心苦しいですが、あとは若い方々に託すことにしました。これまでこの活動を続けてこられたのも、支援して下さる会員の皆様や賛同してご協力いただいた皆様のおかげだと、心より御礼申し上げます。今後は、藤田代表理事を中心にこの活動を進めてまいりますので、引き続きご支援をお願いいたします。

【代表理事就任のご挨拶】

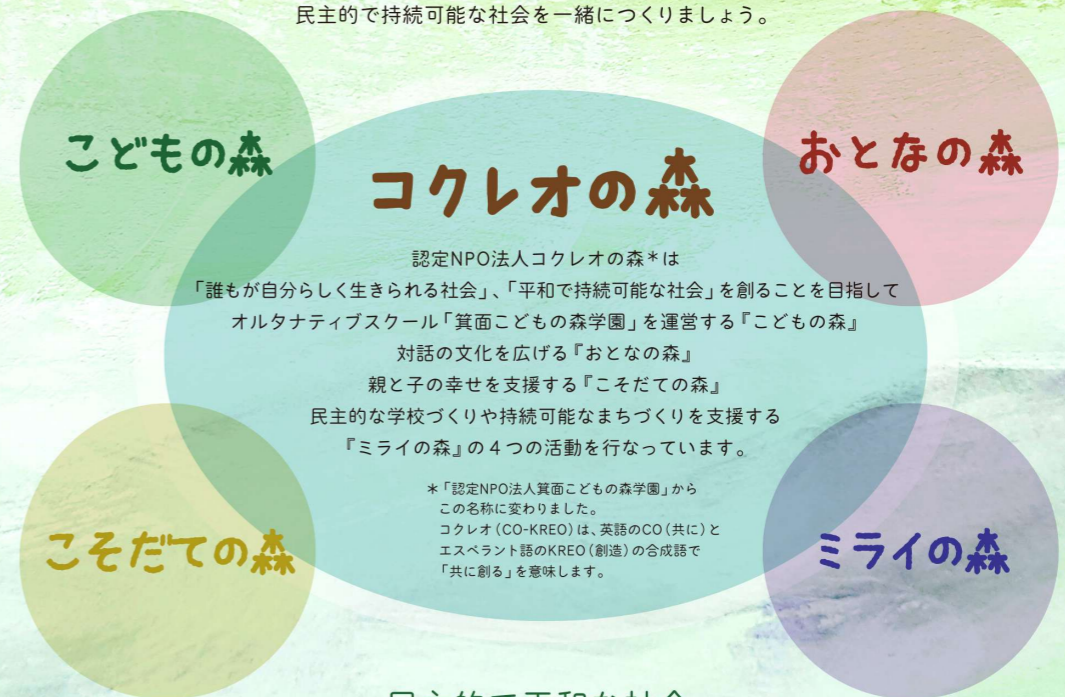
このたび、辻が代表理事を退任することを受けて、後任を引き継ぐこととなりました。2003年に「大阪に新しい学校を創る会」として始まった会は19年が経ち、今では、学校運営事業であるこどもの森に加え、こそだての森、おとなの森、ミライの森と4つの事業を行い、箕面市と豊能町に2拠点をもつ団体へ成長していきました。今後は、さらに拠点を増やし、2校目の設立とSDGsのまちづくりを目指すという大きな目標に向けてチャレンジしていく予定です。その道のりは、今までに経験したことのないもので、さまざまな壁もあり、難しいものがあります。

藤田 美保

始まった当初は、「富士山に登ったことがないのに、エベレストを目指している感じ」でしたが、今では、富士山の8合目ぐらいで、富士山登頂が見えてきている感じのところまでやってきました。ここまで歩んでこれたのも、たくさんの温かい応援はもちろんのこと、登頂できるように環境を整えてくれて、一緒に登頂を目指してくれるコクレオというチームのみなさんのおかげです！これからも、一步一步みなさんとともに歩んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。望むミライをともにつくっていきましょう。

ともに、つくる

子どもの主体性を育む教育や対話の文化を広め、人と人、人と自然が調和するライフスタイルの普及や信頼によって結ばれる社会創りにチャレンジします。民主的で持続可能な社会を一緒に作りましょう。



民主的で平和な社会

私たちは、人びとの多様な価値観や生き方が認められ、少数の人たちの意見も尊重される民主的で平和な社会を願っている。そのために、あらゆる対立を脅しや暴力によってではなく、対話や話し合いを通して平和的に解決していく。

認定NPO法人コクレオの森*は「誰もが自分らしく生きられる社会」、「平和で持続可能な社会」を創ることを目指してオルタナティブスクール「箕面こどもの森学園」を運営する『こどもの森』対話の文化を広げる『おとなの森』親子の幸せを支援する『こそだての森』民主的な学校づくりや持続可能なまちづくりを支援する『ミライの森』の4つの活動を行なっています。

*「認定NPO法人箕面こどもの森学園」からこの名称に変わりました。コクレオ (CO-KREO) は、英語のCO (共に) とエスペラント語のKREO (創造) の合成語で「共に創る」を意味します。

みんなで創るミライの学校プロジェクト

みんなとならば、より遠く

2021年は、コクレオの森にとって、とても大切な1年となりました。長年あためてきた「2校目設立と学校法人化」の夢を実現するために、2027年の4月開校を目指し本格始動をすることになったからです。

「廃校を利用して、2校目は学校法人で設立したい!」口で言うのは簡単だけど、富士山も登ったことないのに、エベレストに登ろうとすることに近いぐらい難しい挑戦となります。本当にたどり着けるかどうか分かりませんが、それでも、多くの方が、私たちに信頼して応援してくださって、一緒に動こうとくださったおかげで、ようやく富士山の8合目ぐらいまではやってきました。

ここ数年、「教育移住」という言葉が聞かれるようになってきました。私たちの学校でも、4割に近い人が箕面こどもの森学園に通学するために引っ越しています。質のいい豊かな教育があれば、その教育を求めて移住する人が増え、その動きは、コロナ禍で「自然豊かな地域で子育てしたい」という思いも加わって、さらに加速しています。

私たちは現在、大阪の里山地域での廃校利用を目指しています。

私たちは現在、大阪の里山地域での廃校利用を目指しています。廃校が出る地域は、過疎化が進んでいる地域にはなりますが、私たちが魅力ある学校をその地域で創ることによって、教育移住が起き、おもしろい人がおもしろいことを考えて、どんどんやっけていく、おもしろい地域を創っていくことができると思います。

廃校利用は、地域の人や他のNPO団体など、いろんな人と一緒に使う「多機能なラーニングセンター」のようなものを構想していて、民主的な市民をはぐむ学校がハブとなる、住み続けられるまちづくりをめざしています。みんなとならば、より遠く。まだまだ長い道のりではありますが、みなさんと一緒に、望むミライをともにつくり続けていきたいと思っています。

ミライの学校プロジェクト
構想イメージ



2021年12月～2022年3月の活動のまとめ

支援者数

のべ
246名

金額

7,197,100円

※マンスリー寄付と単発寄付の合計です

みんなで創るミライの学校プロジェクト オンラインイベント

- 第1回 2月4日 参加者42名
オルタナティブスクールを選んだ理由・学んだこと
～井上ファミリーが語る～
- 第2回 3月4日 参加者：224名
苫野ゼミとのコラボ企画
「自由の相互承認の態度を育むための学校とは？」
～箕面こどもの森学園に聞いてみよう!～

支援者の声

橋俊夫さん

(レオ財団理事長)



私が、藤田さんに初めて会ったのは、今から9年ほど前のことになりました。ひとのために生きようとする人を支援する「レオ財団」を立ち上げて少し経ったころでした。子どもの主体性を尊重する学校を市民の手で創っているというお話をお聞きし、書籍も拝見し、学校も訪問させていただきました。当時は、まだ、生徒数も20数名でしたが、今では70名となり、100名ほどの生徒さんが空を待っているほどだと聞いています。与えられる教育を受けるのではなく、自ら考えて学びを創り出す。その価値の素晴らしさによりやく時代が追いついてきたのでしょうか。2校目の設立も応援しています。

水谷千里さん (パン工房～農～みのり)



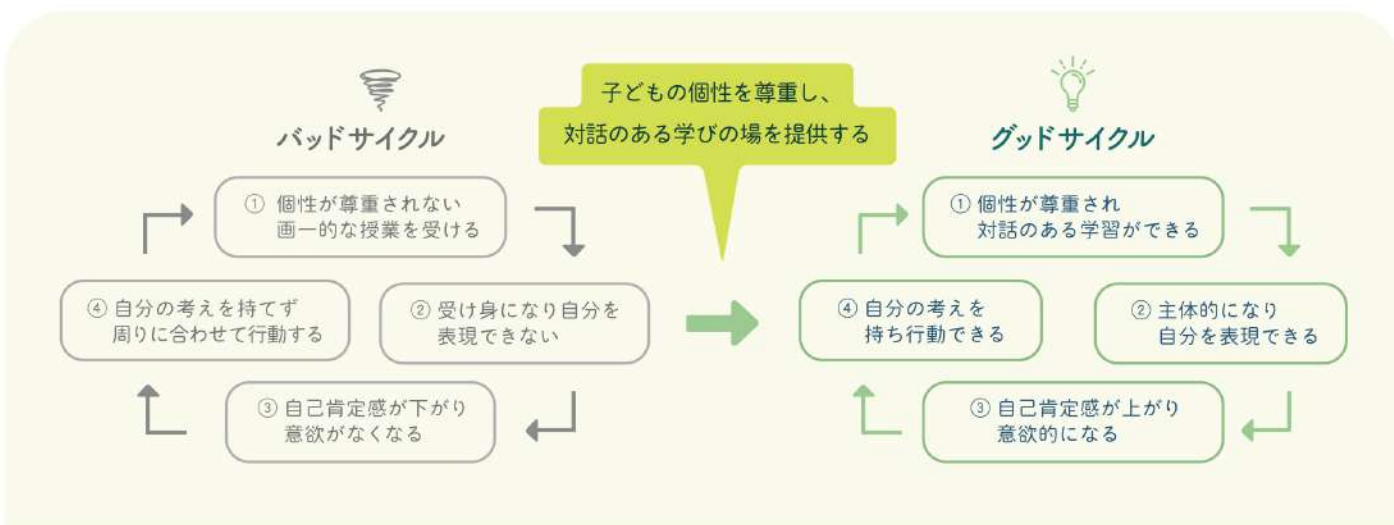
私が藤田美保さんに初めて会った日「自分たちで学校を作りました。」という言葉に耳を疑い、頭の中は???がいっぱいでした。あれから数年が経ちいろんな関りの中で、あの言葉は本当だったんだと実感できるようになりました。自分たちの望む未来を自分たちの手で作っていかようとする人達に混ざっていただきながら、私も子どもたちの幸せな未来を創る人でありたいと思います。そんな人がますます集まって大きな力になることを願っています。

みんなで創るミライの学校プロジェクト

なぜコクレオ2校目をつくるのか?

1999年10月に立ち上がった「大阪に新しい学校を創る会」

「受け身で無気力な学生が気になる」「子どもが不登校だった」「子どもの頃、学校になじめなかった」「自分の子どもを通わせる学校がほしい」など、いろんな思いをもつ仲間が集まり、画一的な教育スタイルではなく、子どもの主体性を尊重し、対話を重視する学校創りが始まりました。これが、私たちコクレオの森のスタートです。



あれから、23年もの月日が流れました。

全校生徒は7名から約70名になり、約100名の方が欠員待ちをしています。

この数字の示すところは、与えられる教育を一斉に受けて、その内容を暗記して競争して人よりも勝つことを目指すのではなく、自分の興味関心に基づき一人ひとりが自分にあった教育を創り出し、競争ではなく、未来を共創することに価値を見出す人が増えてきていることを表していることに他なりません。

コクレオの森は、今、里山地域で、廃校を利用して「子どもの主体性を育み対話が大切にされる学校」の設立を目指しています。そして、そうした学校が地域のハブとして存在する、人と人、人と自然が調和して暮らす信頼によって結ばれる社会(まち)を創りたいと願っています。コクレオとは「ともに創る」を表す造語です。

あなたのお力を、ぜひお貸しください。



「地球にやさしい暮らし」を一日実現してみるイベント

1日 がっこうと 里山 ロハス



11月7日、お天気にも恵まれ、「1日 がっこうと里山 ロハス」を開催することができました。

「1日 がっこうと里山 ロハス」は、豊能町をはじめ、能勢や黒川など、北摂の地域の人たちの交流の場であり、この地域のみなさんと「こんな学校あったらいいな」「こんな暮らし方が人にも地球にもいいよね」を共に考えていくイベントです。「1日 がっこう」では、地域からたくさんの方が先生として参加していただき、多種多様な11の講座が開かれました。どの講座も本当に素敵で、参加者も先生も楽しい時間を過ごしている様子が伝わってきました。「里山 ロハス」は、今までは「ロハスinこどもの森」という名前でやっていましたが、今回初めて豊能町で実施しました。豊能町のみなさんはとても温かく、豊かな繋がりができたように思います。今回のイベントをきっかけに地球にやさしい暮らしに関心を持つ人が増え、日常でも地球にやさしい暮らしをする人が増えることを願っています。

教育哲学者より
菅野一徳さん



「みんなで同じことを、同じベースで、同じ年生まれの人たちと」
この150年続いてきた学校システムが、いま、大きく変わろうとしています。

でもどう変わればいいのか? その一つの答えが、ここにあります。私自身は、「学びの個別化・協同化・プロジェクト化の融合」への転換を長く提唱してきました。箕面こどもの森学園は、その一つの大きなモデルです。同質性の高い学校空間を、幼児から高齢者まで、多様な人たちがもっと関わり合える「ごちゃまぜのラーニングセンター」にしていこうとも提唱してきました。コクレオの森は、これまたその稀有なモデルの一つです。学校教育の未来の姿が、ここにはたっぷり詰まっています。これからも、大いにインスパイアされたいと思っています!

箕面小野原校舎に移転して、12年 小学部は46名。中学部は20名になりました



『こどもが学びの主人公』 『学ぶと生きるをデザインする』

小学部の低学年クラスでは、ことば・かずの時間に「クエスト」という取り組みを始めました。子どもたちの声も聞きながら、それぞれのペースや進捗に合わせた基礎学習の時間を考えています。

高学年クラスは、修学旅行で淡路島へ行きました。人数が増えてくるとこれまでのような進め方には限界があると感じながら、また新たにチャレンジしていければと思っています。

中学部は、はじめて定員いっぱいの20名になりました。台湾の全人実験学校の方々とオンラインでの交流を行いました。英語でのやりとりの交流は、多くの刺激があった様子でした。



2021年

2021年、校庭には桜、合歡、琵琶、ブルーベリー、金木犀、などたくさんの植物が育っていて、メダカや蝶やトンボなど、いろんな生き物の姿が見れるようになりました。小さなツリーハウスも子どもたちに人気のスポットとして活躍しています。



2009年

6名の子どもたちが通ってくれ、スタッフは9名程度。緑はほとんどなく、「森」ではなく「砂漠」と言われたことも…。そこから、花壇やビオトープ、木工室などを、子どもたちと一緒に話し合いながら作っていきました。

みんなにとって一番大切なもの（21卒業式のスピーチより）

「この学校のどんなところが一番好きですか？」この質問を学校中の人にしたところ、一番多かったのは「多数決をしない」ということでした。「多数決をしない」ということは、「話し合って決める」ということになります。そのとき、大切になってくるのは、相手の話をよく聴いて、自分の意見を伝えるのだけど、お互いが納得できるだれも反対しない案というのを一緒に創りだしていくことです。この学校では、いろんなことをそんな話し合いで決めてきました。多数決で決めない話し合いは、時間ばかりがかかって、嫌になることもあったと思いますが、それでも話し合っ、お互いの納得を見つけていった経験が、これからのみんなにとって、自分も人も大切にしながら生きていく上で役立つものとなることを願っています。

藤田 美保
校長(2021年度)



2021年の様子



自分を表現する



小学部の
テーマ学習!

自律して学習する

2学期のテーマ学習は「気候危機～地球にやさしい暮らし～」。気候危機を調べた人、学校の中の「もったいない」を探し、地球にやさしい暮らしを提案する劇を作った人、ベルギーの小学生にインタビューして、日本との環境への意識や、仕組みの違いを比較した人もいました。



中学部の
研修旅行!

チャレンジする

21年度は徳島県へ。「協力できる非日常の体験」「同世代との交流」「異文化の体感」という3つのキーワードを共有し、準備しました。徳島県神山町で高校生と交流・上勝町でスタディツアー、徳島市・淡路島で観光、たくさんの体験活動を通して充実した時間を過ごしました。



中学部の
ミニ講座!

20分間の「ミニ講座」という時間。その中で、中学生が講師役を引き受け、自分の好きなテーマをみんなに伝える時間があります。その内容はバラエティに富み、睡眠の質、懸賞について、イギリス英語、四国自転車旅なども、自分の好きなこと、伝えたいことをそれぞれの形で表現しています。



協力して活動する

5月のある日、飼っていたニワトリが何かに襲われて亡くなってしまいました。もう一度飼いたいという人たちが、小屋を修繕し、飼うことに懸念がある人たちと対話し、11月に再びニワトリがやってきました。日々のお世話も引き受け、再び命とも向き合っています。



多角的に考える

ことば共同の時間には「こども哲学」をしています。哲学するテーマは子どもたちで話し合っ、少人数のグループに分かれて物事の本質に向かい、じっくり話し合いました。



高学年の
こども哲学!



こそだての森

KOSODATE-NO MORI



親と子の土曜クラス そら



季節の移り変わりを感じながらの活動

2021年度のそらでは前期・後期ともに22組の親子が参加しました。里山の自然の中で季節の移り変わりを感じながら活動をしてきました。前期は田んぼで泥まみれになったり、川遊びをしたり、後期は芋ほりやたき火をしました。山へ散策に行くと子どもたちはたくさんの生き物や「ふしぎ」を発見します。また、午後からのアトリエは大人にとっても、ものづくりの楽しさを感じる時間になっています。



森のアトリエ

里山の自然と人の コミュニケーションサロン

日本一の里山と言われる川西市黒川。里山の自然との関わりや趣のある木造校舎(黒川公民館)は、コロナ禍の閉塞しつつある気持ちを解放し、エネルギーを注いでくれるような貴重な場所になりました。

アウトドアの時間には、“今”にフォーカスするほど発見や出会いがあり、興味関心が広がっています。“自分軸でモノづくりを楽しむ”アトリエでは、木っ端や道具が用意されている木工コーナーが小学生に大人気。親子でない大人と子どもがペアになっていたり、コーヒー片手に我が子の楽しそうな姿を眺める人もいます。



豊能町子育てひろば「だんでらいおん」

ママ・パパがほっとできる場所

3月8日、大阪府豊能町から業務委託を受けて、コクレオの森が運営する豊能町子育てひろばがオープンしました。ひろばスタッフは全部で8名。

工作に長けた人、読み聞かせや手遊びができる人、子育てハッピーアドバイスの講座ができる人、事務的なことを引き受けてくれる人…このチームには安心と信頼があるなあと日々感じています。強みや弱み、感情や気持ちもオープンにして受け止め合い、自分らしくいられるチーム。そんなチームでスタートした「だんでらいおん」が、子どもたち、ひろばを訪れる大人たちの、それぞれの個性を認め合える場になるようにと願っています。



こどもの森のハッピーアドバイス



テーマは「自然体で行こう」

子育てカフェは「自然体で行こう」というテーマで、プロコーチや子育てハッピーアドバイザーを講師に迎え、毎月1回開催しました。親も子も肩の力を抜いて、ありのままの自分で大丈夫なんだと思える子育てについて、お話とワークを中心に行いました。「聴き方」「承認」「リフレーミング」「家族会議」「夢ノート」など、子どもの自己肯定感や、親の自己肯定感が高まるワークをたくさん実施し、幸せで平和な親子を増やす活動を地道に進めました。

おとなの森

OTONA-NO MORI

学び場コーディネーター Manabeeプログラム

Manabeeでは、コクレオの森で大切にしていることをワークしながら学び、その後、共有プログラム創りと実施に進みます。今、民主主義の大切さを痛感します。民主主義の三本柱は対話・信頼・参画です。三本柱をさらに突き詰めると「自分もひと大切にする」ということではないかと思えます。ひとりひとりが民主的であるために、学び続けたいと思います。

参加者の声

2021年のmanabeeプログラムに参加して、一番印象的な回は3回目の「民主的な場のあり方~多数決をしない話し合い~」の会でした。対話の授業やワークを通じて、外側の出来事から、自分の内側と繋がる。そこから、自分の囚われに気づく。その囚われを少し緩めていくことで、余白ができ、自分の中にある本当の願い、恐れ、ニーズ、にたどり着く経験でした。この体験を通し、本当の意味で自分を扱うようにしか、相手は理解できないのかなと感じました。安心した場。心が解放する安心感。自分の感じたことを場に出すことがプレゼントになる空間。相手と自分の中にあるものを、場の皆んなで見つめる作業。本当の安心って、自分が自分である安心感が得られたときに初めてそう感じるんだあって、対話の良さを実感する場でした。(歳國裕子さん / 社会人)



2021年度 Manabeeプログラム

【自分で考え自分で決める~民主的な学びの作り方~】

- 1 being~存在そのものに価値がある~(自己肯定感)
- 2 自分の人生は自分がつくる(自己決定)
- 3 相手を受け止め、自分を伝える(対話)
- 4 つながる時代のはじめの一步(ESD)

21年度 教育カフェ一覧

- 5/30 永崎裕麻さん
(旅幸家・英語学校カラース校長)
- 7/9 永遠璃マリールーズさん
(ルワンダの教育を考える会理事長)
- 9/3 玉木幸則さん
(兵庫県相談支援ネットワーク代表理事)
- 11/12 久保敬さん
(大阪市立木川南小学校長)
- 1/28 遠藤まめたさん
(一般社団法人にじぞ代表)
- 3/18 板持周治さん
(雲南市政策企画部地域振興課)

ミライの森

MIRAI-NO MORI

サステイナブルな学びプラットフォーム (サスマナ)

2021年度のサスマナは、個人会員19名、団体会員9団体の方にご登録いただきました。活動としては、月に1回オンラインのつどいをzoomにて開催。会員の方がそれぞれの場づくりにおける課題を共有したり、こどもの森の実践や運営について学べる場となりました。そして、希望者とはオンラインにて月1回のメンター相談を実施。また、1年間でサスマナ会員の方から3件の講師派遣と、1件のオンライン見学会の依頼をお受けしました。

参加者の声

サスマナの制度を使い、5日間のスタッフ体験をしました。集会やワールドオリエンテーション、スタッフ会議など様々なことを体験できました。毎日の終わりには、「振り返り」をして、その日の感じたことや私の疑問などにとことん向き合ってくれました。今回の体験は私に、たくさんの経験と問いをくれました。また、常に子どもたちにとって、何がいいのかを考え続けることがいざばん大切だと感じました。そして、慣習や日常にとらわれず、常に子どもたちのより良い学びのために、恐れず、“変わり続ける”箕面こどもの森学園さんはとても魅力的でした。(山野蒼さん/大学生)



21年度オンラインヴィレッジ一覧

- セカフザ予祝会 (5/5、6/26、8/7)
- コクレオ談話 (5/23、8/1、10/24、3/6、3/21)
- コクレオ共創ナイト (11/27、12/19、1/23、2/27、3/27)

2021年度活動計算書

2021年4月1日～2022年3月31日まで
[税込] (単位:円)

勘定項目	2020年度(前期)	2021年度(今期)
● 受取会費	1,044,500	1,524,000 ①
● 受取寄付金	4,503,886	1,968,364 ②
● 受取助成金等	2,970,000	880,500 ③
● 事業収益		
こどもの森	34,837,500	38,861,970 ④
こそだての森	2,008,147	1,971,763 ⑤
おとなの森	762,324	553,229 ⑥
ミライの森	598,187	701,690 ⑦
こそだてひろば	0	385,000 ⑧
● その他収益	298,410	277,080
経常収益計	47,022,954	47,123,596
● 事業費		
人件費/法定福利費	29,593,478	30,979,338 ⑨
その他経費		
事業支出	3,258,679	3,122,711
期首棚卸高	448,997	298,607
書籍仕入	0	72,116 ⑩
期末棚卸高	△ 298,607	△ 288,595
会議費	38,188	11,534
福利厚生費	41,800	48,489
通信運搬費	458,722	504,332
地代 家賃(事業)	783,000	800,400
減価償却費(事業)	4,310,694	4,073,456
その他経費計	9,041,473	8,643,050
事業費計	38,634,951	39,622,388
● 管理費		
人件費	1,634,083	2,523,552
その他経費	5,454,433	4,428,917 ⑪
管理費計	7,088,516	6,952,469 ⑫
経常費用計	45,723,467	46,574,857
税引前当期正味財産増減額	1,299,487	548,739
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000
当期正味財産増減額	1,229,487	478,739
前期繰越正味財産額	91,876,620	93,106,107
次期繰越正味財産額	93,106,107	93,584,846 ⑬

① 団体会員費が増えたため、増額しました。2021年度団体会員は7団体でした。

② 前受金とした、学校法人化に向けた寄付は、7,543,428円でした。

③ 持続化給付金がなくなり、減額しました。公益財団 JKA 様より、コロナ感染対策機器類購入のための助成金をいただきました。職員が育休を取得したことにより、育児休業給付金を受け取りました。

④ 2021年度の生徒数は、小学部46名、中学部20名でした。

⑤ 土曜親子クラスそら、森のアトリエ、子育てカフェの事業収入です。

⑥ Mabee プロプログラム、教育カフェ、もりラボの事業収入です。

⑦ サスな、1日があっこうと里山ロハス、講師謝礼の事業収入です。

⑧ 3月から豊能町から業務委託を受けて、運営しています。(1か月分の業務委託費です。)

⑨ 常勤スタッフ5名、専任スタッフ2名、非常勤スタッフ6名分の人件費となります。

⑩ 「こんな学校あったらいいな」を50冊購入しました。

⑪ 事務が増え、人件費が増額しました。非常勤スタッフ4名分の人件費となります。

⑫ その他経費には、広告宣伝費、保険料、顧問料、リース料、租税公課などを含みます。

⑬ 約9358万円を次年度に向けた資金として繰越しました。この資金を土台に、廃校を利用した2校目の設立と、コクレオの森の持続可能な運営のための組織体制づくりを実現させていきます。

コクレオの森 会員数

正会員 **166**名
賛助会員 **156**名
団体会員 **7**団体

コクレオの森 スタッフ数

常勤スタッフ **7**名
非常勤スタッフ **20**名

箕面 こどもの森学園 在籍者数

小学部 **46**名
中学部 **20**名

箕面 こどもの森学園 卒業生数

小学部 **60**名
中学部 **18**名

箕面 こどもの森学園

入学希望見学者 **94**家族
一般見学者 **105**名

イベント年間 参加者数

子育てカフェ **210**名
森のアトリエ **192**組
そら **264**組

イベント年間 参加者数

教育カフェ **108**名
もりラボ **23**名
マナビー **191**名

コクレオの森 講師依頼

派遣回数 **28**回

数字でみる コクレオの森

2021年度のコクレオの活動を象徴する数字を集めました。
*2022.3現在

※紙面の都合上こちらには掲載できませんでしたが、貸借対照表・資金収支計算書・財産目録は、当法人のWEBサイト(<https://cokreono-mori.com/npo/news.html>)に開示しております。あわせてご覧くださいませ。



事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。又、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。
2022年6月11日 監事 森本哲夫

2022年度の 主な活動計画



こどもの森

こどもの森 校長交代のお知らせ

2022年4月より、箕面こどもの森学園の校長が藤田から佐野に、交代しました！新しい体制になりますが、民主的に生きる市民を育む学校づくりを続けていきますので、引き続き、どんどん声をかけたり、どしどしかかわっていただければと思います！！

新校長：佐野純より

新しく校長になった佐野 純です。自分が具体的なビジョンを持って意思決定をしていくというよりは、共に学校を創っている子どもたち、保護者、スタッフとたくさん対話し、箕面こどもの森学園が大切にすることは軸として大事にしつつも、常に今の子どもたちの様子に寄り添った学校創りをしていきます。引き続き、応援やご協力をよろしくお願いいたします。

中学部 研修旅行

コロナ禍もあり、この2年間は海外に研修旅行に行くことができませんでしたが、2022年度は、ベトナムに行く方向で準備を進めています。準備段階でも、実際の現地でも、いろいろと大変なこともあるかとは思いますが、中学部の人たちにとって、大きな学びにつながればと願っています。

こそだての森

子育てひろば「だんでらいおん」

コクレオの森が初めて自治体からの業務委託を受けて運営している大阪府豊能町の子育てひろば。2022年4月に正式オープンしました。「子どもはニコニコ、ママパパはホッとできる場所」がキャッチフレーズで、安心感と、親子の自己肯定感を大切にできるような場作りを心がけています。オープンして4ヵ月。読み聞かせ会、子育てお話し会や本音ぶっちゃけマママートークなどイベントも開催していきます。

水曜クラス 風

「なかなかゆったりできない日々の中で、月に1度でも里山に出かけてのびのびと過ごし、自分を開いていってほしい」という願いを込めて、2022年度から、平日の月1～2回里山で過ごすクラスがスタートしました。朝みんなが集まって話をし、午前中は外で思い切り遊ぶ。お昼はお味噌汁と一緒に食べて、午後は部屋の中でアトリエ・工作をする。その日の最後には活動を写真で振り返ります。里山の環境に身を置いて、自分の好きなことをしながら興味関心に気づくような時間になればと思っています。

おとなの森

ともにつくるためのリーダーシッププログラム(ともつく)

今年度から「ともにつくるためのリーダーシッププログラム」(ともつく)を始めました。ともつくは、合宿とその後のオンラインでのサポートを通じて「対話文化を広げる火種となる」人を育てるプログラムです。コクレオの森が大切にしている対話の感覚が社会に広がり、対話の価値を受け取る人が増えればと願い、開催しました。参加者の方からは「自分の感情に向き合えるようになった」「ゴールを手放すことが大事だと学んだ」など気づきを得られる機会になったようです。これからも対話文化を広げていきます。

ミライの森

サステイナブルな学びプラットフォーム(サスマナ)

サスマナとは、新たに学校を創りたいという方を応援する「サステイナブルな学びプラットフォーム」です。ご入会いただくと、箕面こどもの森学園の見学、スタッフ体験、メンター相談、リソースアクセス、講師依頼などができます。現在、北は岩手、南は熊本まで、学校づくりを目指している方々が登録されています。そのサスマナでは、2022年度からオンライン学習会を開催することになりました。全国の学校づくりを目指す仲間のみなさんのサポートも、引き続き行っていきたいと思っております。

1日がっこうと里山ロハス

昨年度、大好評だった「1日がっこうと里山ロハス」。2022年度も、11月20日(日)に豊能町吉川の吉川自治会館で開催！



コクレオをともにつくる

1 まずは、SNSで活動を知る

コクレオの森
 @cokreono_mori
 cokreono_mori



2 お金で支援する

① 都度寄附

郵便局でのお振込・お振替

郵便振込用紙に必要事項をご記入の上、ご送金ください。
【振替払込】 00980-7-232403
【ゆうちょ銀行口座】 記号：14020 番号：68190721
【加入者名】 NPO 法人コクレオの森

銀行口座へのお振込

ゆうちょ銀行四〇八支店 普通 6819072
 口座名：NPO 法人コクレオの森

寄附金引受書をダウンロードし
 右のQRよりFAX、または郵送ください



② オンライン寄付サイトからの寄付

1日16円からできるマンスリーサポーター



子どもの個性を尊重し、対話のある学びの場を提供する活動の輪を広めるため、二校目の設立をめざしています。継続的な応援をお願いします。



クレジットカードで単発のご寄付



ご寄付頂ければ寄付者向けオンラインイベントにご参加いただけます。

3,000円



10,000円



50,000円



100,000円



3 法人として支援する

子どもの未来をつくるための支援ができます
 民主的なこれからの社会をつくる子どもたちへ未来への投資です。

団体賛助会員

金額により団体様に活動の情報をお届けします。
 1万円 5万円 10万円 30万円



4 お買い物をして応援する

商品を購入いただくことで、売上の一部がコクレオの森への寄付となります。

ネットショップ パン工房～みのり～ <https://minoripan.theshop.jp/items/28836346>



5 一緒にミライを創る

もりもりサポーター(会員) あなたのアイデアと力をお貸しください！

コクレオの森が目指すミライに共感される方は、入会していただく、活動に参加することができます。

【もりもりサポーター】

正会員 ----- 6,000円
 賛助会員 ----- 3,000円



ご支援ありがとうございます。(2022年8月)

このように年次報告書を作成し、皆さまにご報告できるのはご寄付・ご協賛いただいている方々のおかげです。



コミュニティ・バンク
京都信用金庫は
地域の皆様とともに
歩んでまいります
これからもよろしくお願いたします

ゆたかなコミュニティを求めて

京都信用金庫 茨木支店
茨木市西駅前町5番10号 茨木大同生命ビル2階 TEL(072)627-1300



「命の尊厳を守る未来」
をデザインします

アマタグループは
人と自然を
コストにしない

＜事業内容＞
持続可能な企業経営・地域運営の統合支援

AMITA

Bridging Gap for A Sustainable World
-持続可能な社会のために-



E-KONZAI
イー・コンザル

すべては最高の
ジビエ料理を
楽しんでい
ただくために。

お電話のご予約・お問い合わせ
072-734-7365



オーベルジュ ヤマガミ
Auberge YAMAGAMI
ジビエレストラン・ホテル



一般財団法人
レオ財団
LEO Incorporated Foundation

公民連携による「新しいビジネス」の開発で、
健康づくり!まちづくり!



coomin
株式会社 コーミン

〒574-0072 大阪府大東市深野3-28-3 アクティブ・スクエア・大東 302号
TEL/072-800-5360 FAX/072-800-5361

電気を替えてココレオの森を応援



毎月の電気代の上限 2.5% をココレオの森に寄付!

再生可能エネルギー (FIT 費) が 82% (2020年実績)

さらにSDGsも達成

7 12 13

TERA Energy



タカジョウ

NPOのための
ホームページ
制作・運用
サービス



nuweb
団体の思いを社会に
届ける・伝えるための
デザインパートナー

0120-30-4280

旬の新鮮な野菜と
信頼できる安心な食べものを
ご自宅までお届けします!

入会金・年会費・配達料不要、全戸個配

入会のお申し込み・お問い合わせはこちら

よつ葉ホームデリバリー
(株)産地直送センター

0120-30-4280
<https://www.yotuba.gr.jp/>

オリジナル販促・グッズ製作の専門店

アイジェット

iJET




TSUZUKU
Hair Wax

Osaka CUT つづくまきよし



中小企業とともに歩み続けて50年



須黒税務会計事務所

東京都中央区銀座5丁目14番16号
銀座アビタシオン1004
電話: 03-3542-9755

VIAMINO

PIZZA 食堂 WINGTIP 1979

大阪府箕面市箕面5丁目13-46
072-725-3373
<http://wingtip.jp/viamino/>

ピアノとギターがあるcafé
izumicho Café



店主 さとし
〒564-0041
吹田市泉町5-1-1 大幸ビル101

定休日: 日曜日、月曜日、祝日 OPEN: 12:00 CLOSE: 21:00

MIRAI.INC

ブランディング デザインで
ココレオを応援
この年次報告書も制作いたしました






認定NPO法人
コクレオの森



箕面こどもの森学園

〒562-0032 箕面市小野原西6-15-31
TEL/FAX 072-735-7676
メール info@cokreono-mori.com
WEB <https://cokreono-mori.com>